

青 池

津 軽 白 神

森 林 生 態 系 保 全 セ ン タ ー

令 和 六 年 度 版

パ ン フ レ ッ ト

林 野 庁 東 北 森 林 管 理 局

津軽峠からの展望▼



○白神山地と世界自然遺産

白神山地は、日本の本州の北部、日本海側の標高約 200m から 1,250m の山地帯に位置する東アジア最大の原生的なブナ属の森林が広がる地域で、約 12,000～8,000 年前から北日本丘陵や山地を覆っていた冷温帯ブナ林が残存しています。平成 2 年 3 月に白神山地のうち、青森・秋田両県にまたがる 16,971ha を林野庁が白神山地森林生態系保護地域として指定し、平成 5 年 12 月に世界遺産条約に基づく世界自然遺産に登録されました。

世界遺産地域は、最高峰の向白神岳(1,243m)をはじめ、白神岳(1,232m)、二ツ森(1,086m)、摩須賀岳(1,012m)など、1,000m級の山々が連なり、ブナを主体とする原生的な広葉樹林が広がっています。

ブナ林散策道▶

暗門溪谷▼



○白神山地世界遺産地域管理計画

遺産地域の保全に係る各種制度を所管する関係行政機関（環境省、林野庁、文化庁、青森県及び秋田県）が白神山地世界遺産地域科学委員会の助言を得つつ、生態系の順応的管理を進めるとともに、地元市町村（青森県鱒ヶ沢町、深浦町及び西目屋村並びに秋田県能代市、藤里町及び八峰町）等の協力を求めて、遺産地域を適正かつ円滑に管理するため、各種制度の運用及び各種事業の推進に関する基本的な方針を明らかにしています。

◀アカショウビン



ニホンジカ▶



○津軽白神森林生態系保全センターの概要

平成 18 年 4 月、青森県鯉ヶ沢町に「津軽白神森林環境保全ふれあいセンター」として設置、平成 25 年 4 月に「津軽白神森林生態系保全センター」に名称を改組し活動しています。活動内容は、世界自然遺産に登録されている白神山地の貴重な生態系の管理と適切な利用を促進するため、巡視活動やボランティアによる自然再生活動、NPO等への技術支援、林業体験等を通じた森林環境教育に取り組んでいます。

<主な活動内容>

- 
1. 白神山地
世界自然遺産
地域の保全管理
 2. ニホンジカ等の
監視体制の強化
 3. 自然再生活動
 4. 森林環境教育
 5. その他
 - ・各種団体との協力・連携
 - ・情報発信

1.白神山地世界自然遺産地域の保全管理

白神山地世界遺産地域連絡会議が主催する合同パトロールの企画立案、巡視報告のとりまとめ、関係機関との連絡調整等を行っています。ボランティア巡視員や関係機関と連携を図りながら、森林生態系の管理保全、入山マナーパンフの配布などにより入山者マナーの向上、違反行為や事故防止に努めています。



合同パトロール▲

パンフレットの配布▼



2.ニホンジカ等監視体制の強化

東北森林管理局管内では、ニホンジカの生息域が拡大しており、白神山地においても、森林生態系への影響が懸念されています。

平成26年度から、自動撮影カメラを設置するなど白神山地世界遺産地域周辺でニホンジカ等の監視体制を強化しています。

また、ニホンジカの食痕を調査し、DNAを利用して生育状況を把握するなど、監視業務に当たっています。



撮影されたニホンジカ▲

自動撮影カメラの設置▼



3.自然再生活動

当センターが行っている自然再生活動は、白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を抜き伐り、広葉樹の発生・生育を促していくもので、広葉樹の発生が少ない箇所には、植樹箇所近隣から採取した苗木を植栽しながら、広葉樹林への移行を目指しています。

(1) 「白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」の設置

本協議会は、学識経験者・自治体関係者・ボランティア団体等の委員により、白神山地森林生態系保護地域（世界遺産地域）周辺の自然再生活動等、周辺地域の円滑な管理運営を図ることを目的に設置されました。協議会においては、周辺地域の保全管理及び自然再生活動、モニタリング調査等に係る事項について協議し、この地域の円滑な管理運営を図っています。



(2) 自然再生マップ

「白神山地周辺地域自然再生計画書」（自然再生マップ）は、自然再生の方向性、ボランティア活動の指針、活動メニューなどを作成し、多様な参加主体による自然再生活動の指針を示しています。



(3) 一般ボランティアによる自然再生活動

公募による一般ボランティアにより、スギ人工林を抜き伐りした箇所へ広葉樹を植える、植樹活動を実施しています。

(4) ボランティア団体等との連携

白神山地周辺地域において、広葉樹の植樹やブナ林再生活動などを実施している各ボランティア団体等への技術指導や作業に当たっての安全指導を行っています。



植樹活動の様子▲



ボランティア団体に対する安全指導▲

4. 森林環境教育

(1) 体験学習等

植樹、スギ人工林の間伐や枝打ち、丸太切り体験、木工教室などを通じて、森林・林業・木材と人との関わり、森林の多面的機能、緑とのふれあい等を理解してもらうため、学校等に職員を派遣し体験学習を実施しています。



(2) 森林教室

白神山地世界自然遺産登録の意義を学び花や野鳥を観察することにより、自然に親しみながら、自然の仕組みや人と自然のつながりや森林生態系保全の重要性を理解してもらうため森林教室を開催しています。



5.その他

・各種団体との協力・連携

各種団体などによる植樹活動の技術支援や白神ラインの清掃活動など、各種ボランティア団体等と協力しながら、活動を行っています。



ユネスコ植樹活動

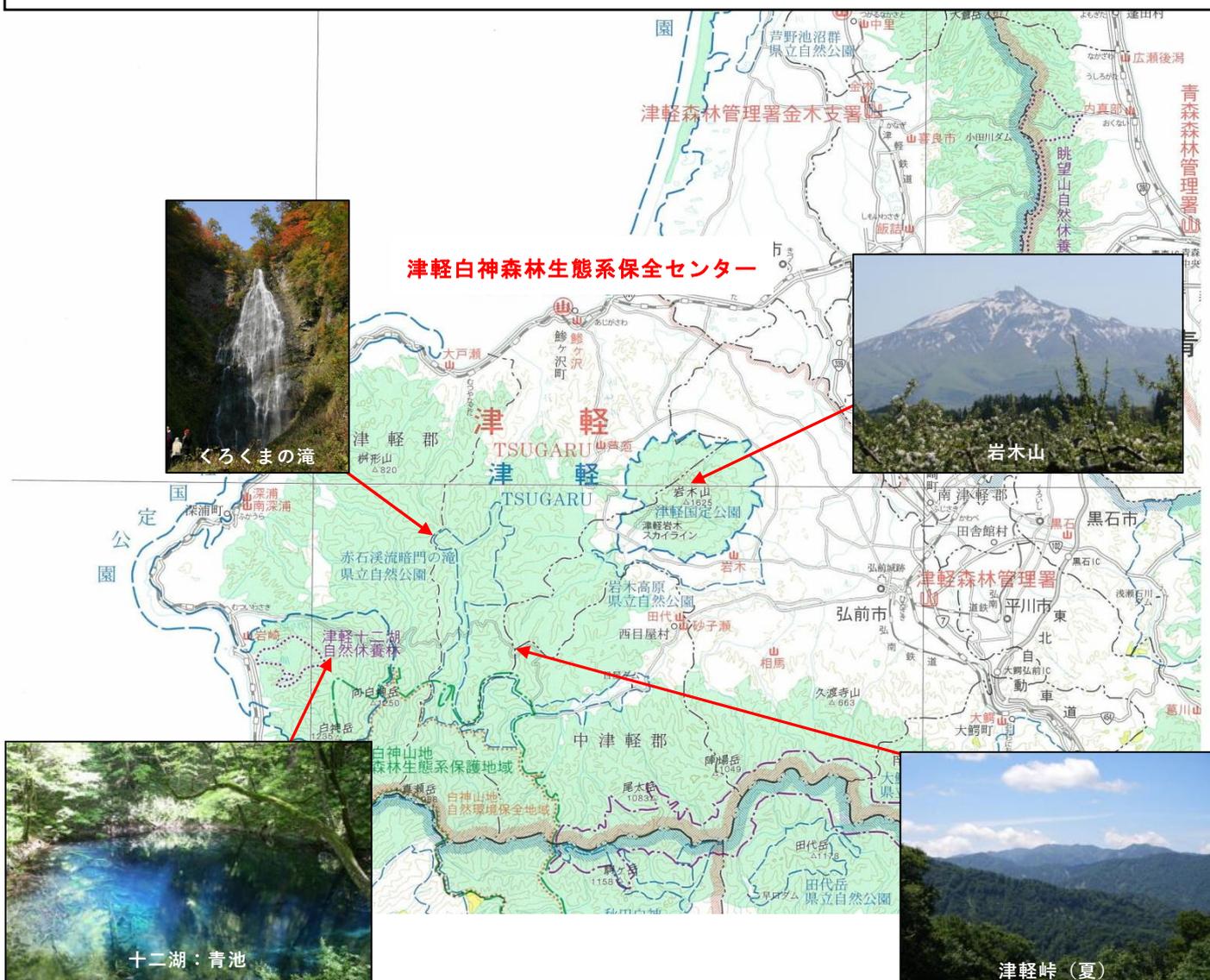
・情報発信

ホームページや広報誌「白神の絆」を毎月発行し、情報発信に努めています。

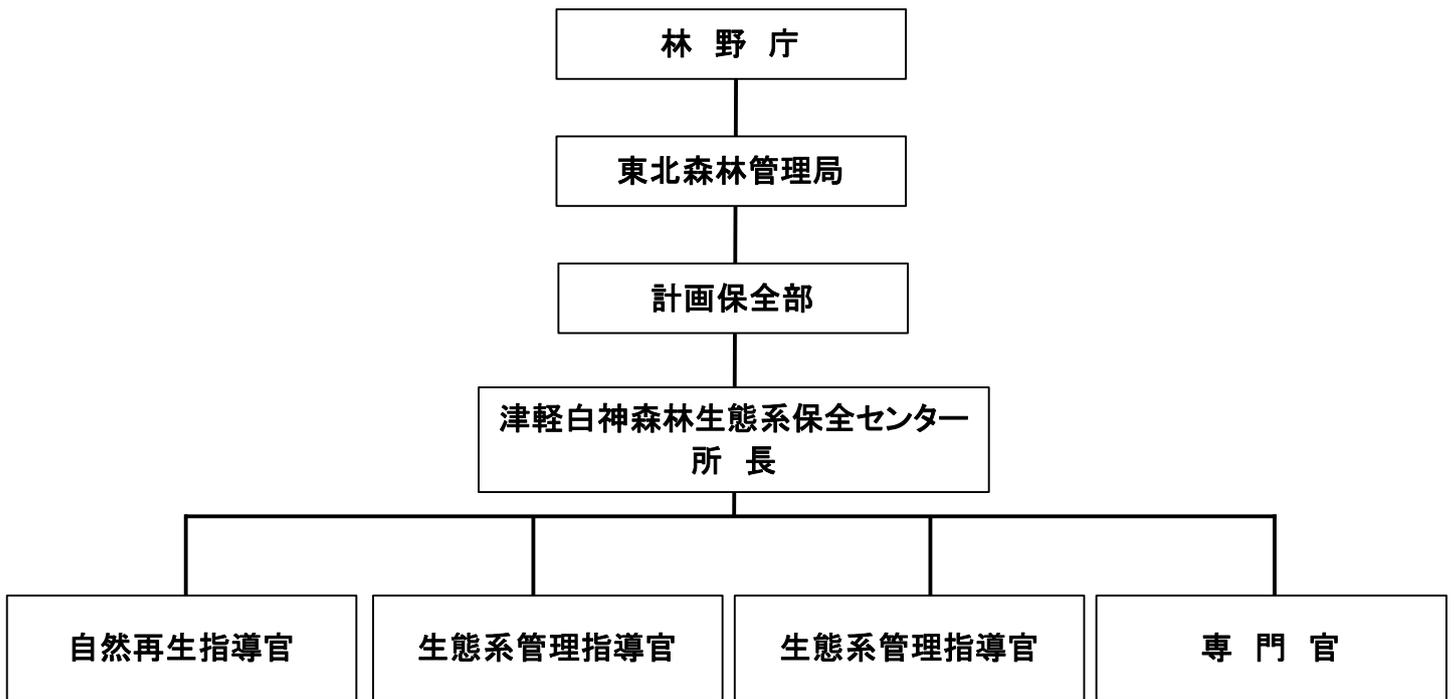


白神の絆

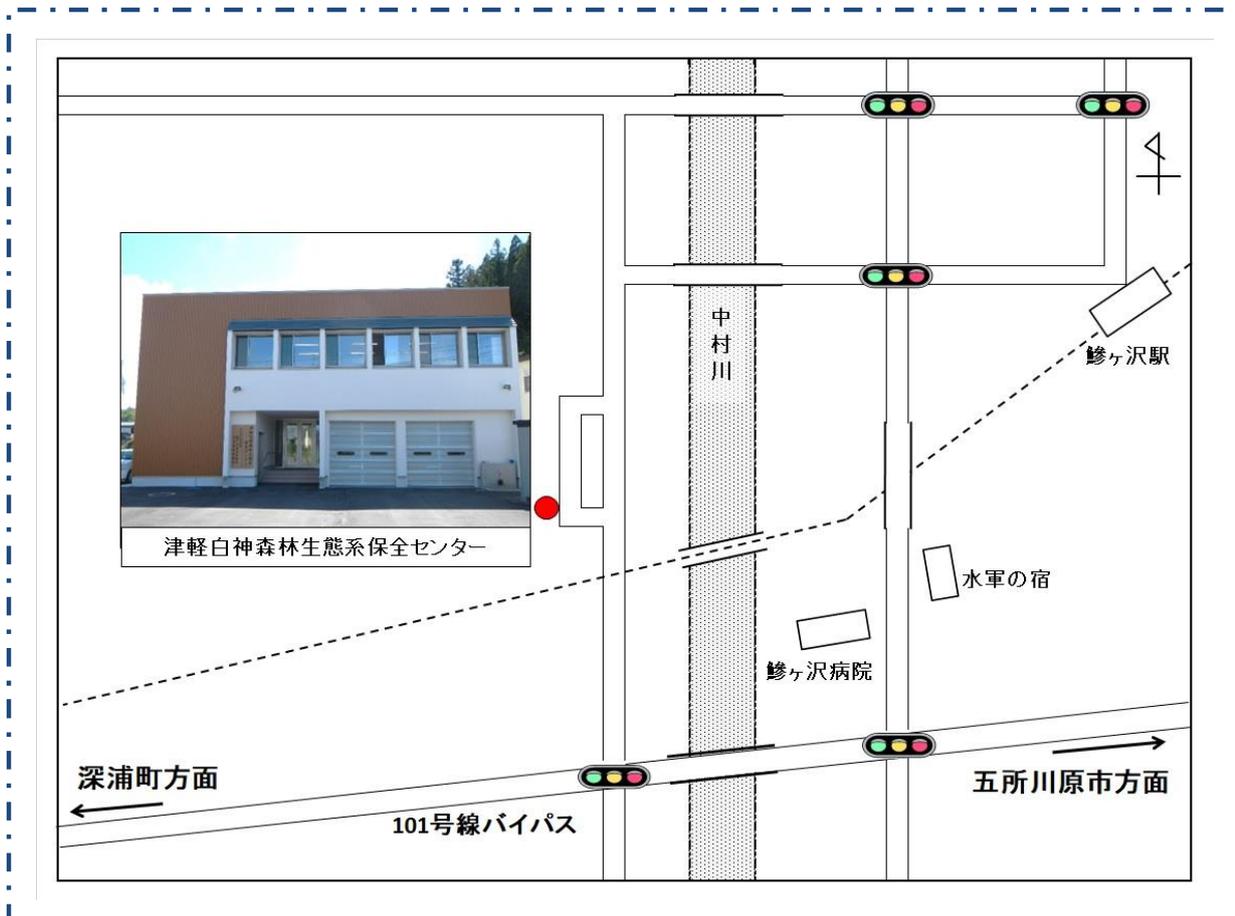
津軽白神森林生態系保全センターの主なフィールド



組織図



津軽白神森林生態系保全センター案内図





林野庁 東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター

〒038-2761 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

電話：0173-72-2931

E-mail アドレス：t_shirakami_f@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>

